

ねっとわーく

市町村のページ【特集：公民館と子どもたち】

- ・ ～出会い ふれあい 学びあい～
中井さくらカレッジ……北九州市立中井市民センター
- ・ 正助さんの寺子屋 …………… 正助さんの寺子屋会
- ・ みんな集まれ！『ふれあい学校外活動』
…………… 柳川市立三橋公民館
- ・ 「昔あそびでつなぐ笑顔と子どもと高齢者」
…………… 福智町中央公民館

こちら県公連

- ・ 第64回九州地区公民館研究大会兼第58回福岡県公民館大会報告

平成25年11月 公民館情報通巻127号

発行 福岡県公民館連合会

〒812-8575 福岡市博多区東公園7-7
福岡県教育庁教育企画部社会教育課内
TEL 092-643-3887 FAX 092-643-3889

シリーズ：公民館と子どもたち



正助さんの寺子屋：吉武地区コミュニティ・センター内

～ 出会い ふれあい 学びあい ～ 中井さくらカレッジ

北九州市立 中井市民センター

1 地域の概要

中井校区は小倉北区の西部（戸畑区に隣接）に位置している。近年、分譲住宅や中高層住宅等の建設が進み、若年層の住民が増加するとともに大型ショッピングセンターも進出し新興住宅地へと大きく変貌を続けている。校区内には、小学校1校、中学校1校、幼稚園1園、保育園2園を含む。中井校区の現在の高齢化率は、17.7%、7才未満人口は7.5%で小倉北区内で一番若い校区である。（世帯数3,000世帯 人口数7,500人）

2 事業のねらい

中井市民センターは昭和51年に板櫃公民館として開館し、長い間地域住民の社会教育施設としての役割を果たしてきた。平成12年に中井校区まちづくり協議会が発足し、平成17年には市民センターとなり、さまざまな地域活動の核として位置づけられていった。

市民センターが、地域住民のふれあい、交流の場であると同時に、従来の公民館の機能を併せもった「学び」の拠点施設でもありたいという思いから、平成22年度より年間を通じた学習の講座を企画した。名前も中井校区のシンボルである桜をとって「中井さくらカレッジ」と名づけ、年齢・性別の関係なく誰でも気軽に受講できる講座として開講した。

3 事業の概要

受講生募集のポスターやチラシを作成し、センタークラブ生や地域住民などにPRを行った。4月から12月まで全9回1回当たり概ね2時間とし、地域住民のニーズにあった多彩なジャンルの講師を招聘し年1回のバス研修を予定している。



5月18日 寺坂カタエ先生講演の様子

4 事業の内容（平成25年度）

4月	入学式 講話と 演奏	笑いは学びの第一歩 マリンバの調べ	7月	講演	一人ひとりの個性と能力が 輝く地域に
4月	講演	散華！九州に散った会津人	9月	講演	人生あわてずゆっくりと
5月	講演	私が歩んだ人生	10月	講演	サル社会から見える人間社会
6月	演奏	～初夏に唄う～ 本田 路津子コンサート	11月	親睦・交流	一日バス研修
			12月	卒業式 演芸	笑う人には福きたる

5 成果と課題

バス研修を入れたことによって、受講生同士の交流ができ、学びの輪が広がった。

1回の受講生の平均約100名のうち男性はわずか10名であった。いかにして男性を市民センターに足を運ばせるかが大きな課題のひとつである。開講して4年目を迎えたが他校区からも受講申し込みがあり、年々受講生も増加している。

今後さらに老若男女を問わず地域住民が、いつでも、自由に学び合い、そしてふれあう場としての市民センターを目指していきたい。



7月20日 中嶋玲子先生講演の様子

<問い合わせ> 北九州市立 中井市民センター
北九州市小倉北区井掘二丁目7-4
電話・FAX (093) 591-8750

正助さんの寺子屋

正助さんの寺子屋の会（吉武地区コミュニティ・センター内）

地域の概要

吉武地区は人口約 1,900 人、世帯数約 850 戸、小学生約 90 人の校区です。

事業の目的

児童の学力向上を目指すほか、地域に住む大人や大学生と関わる機会を増やすことにより、伝統、文化を伝え吉武地区の福祉基本方針「地域ぐるみで親孝行」を実践し、正助さんの人づくりが児童にとっての未来の人間形成に役立てることを視野にいれています。

活動内容

【学習会】 日時：毎週火・木曜日 16:00～17:30 場所：吉武地区コミュニティ・センター内 対象：吉武小学校全児童	【国際交流会】 日時：平成 25 年 8 月 5 日～7 日（2 泊 3 日） 行先：金海市（韓国） 対象：吉武小学校 4 年生以上 7 名
【夏季体験学習】 日時：平成 25 年 8 月 21 日～22 日（1 泊 2 日） 場所：グローバルアリーナ 対象：吉武小学校 5,6 年生	【通学合宿】 日時：平成 25 年 11 月 17 日（日）～21 日（木） （4 泊 5 日） 場所：吉武地区コミュニティ・センター 対象：吉武小学校 5,6 年生
【正助さんの歌発表会】 日時：平成 25 年 8 月 20 日（火） 10:00～ 場所：宗像市アスティ 2 丁目 1 番地 内容：宗像アスティ太陽光発電（株） 竣工式イベントに参加 対象：吉武小学校全児童（1～4 年生は歌を、5・6 年生はリコーダーで出演予定） ※7 月の正助さんの寺子屋で練習を始めます。	

地域ボランティア、コミュニティ運営協議会役員、福岡教育大学生などで運営しており、6 月末で登録児童 51 人、スタッフが 15 人です。6 月 6 日に行われた「正助さんの寺子屋開講式」では、児童 34 人が参加し、学習プリントや英語のレッスンに楽しそうに取り組んでいました。



寺子屋に通う子どもたち



陶芸などの体験学習もしています

問い合わせ先 正助さんの寺子屋の会 事務局（吉武地区コミュニティ・センター内）
TEL:0940-32-5904 FAX:0940-32-5958

みんな集まれ！『ふれあい学校外活動』

(柳川市立三橋公民館)

私たち三橋公民館は、柳川市内にある市立公民館のうちのひとつで、管内には、5小学校・1中学校があります。

そこで、学校週5日制導入を機に、公民館としても子どもたちに多くの体験活動の場を提供し、自ら考え、行動できる子どもたちを育てていこうと様々な取り組みを行ってきました。

今回は、その中から「ふれあい学校外活動」について紹介します。

◆ 事業の概要 ◆

①目的

- ・“異校区、異年齢”の子どもたちが集い、多くの体験活動を共にし、互いに協力し合い、交流を深めることで、自ら考え行動できる力を育てていく。
- ・高齢者や地域の方々とのふれあいをとおして、子どもたちを見守る環境づくりや居場所づくりを進めていく。
- ・ボランティアの方々とは活動と共にし、深めることで、ボランティア精神の醸成を図る。

②対象 … 管内5小学校の1年生～6年生の希望者

③主な会場 … 柳川市立三橋公民館

④期間 … 5月～翌年2月で各月1回（主に土曜日）

⑤参加費 … 基本的に無料（材料費など特に必要な場合は当日集める）

⑥指導者 … 専門指導者・地域の方々・ボランティア団体・公民館職員

⑦主な内容 …

- ・カプラ積み木
- ・笑いヨガ
- ☆親子料理教室
- ・花植え 美化活動
- ・外国文化体験（衣装・玩具・楽器体験）
- ☆ウォークラリー（地域散策）
- ・ニュースポーツに挑戦

(☆印は親子参加型プログラム)



◆ 今後の展開 ◆

今後は、参加対象や実施回数について検討しながら、内容では体験型プログラムや交流型プログラムを更に充実させ、子どもたちにとって魅力ある講座へと発展させていきたいと考えています。

そして、この『ふれあい学校外活動』が子どもたちの貴重な体験の場、学校外での居場所として地域に深く根ざしていけるよう職員全員で頑張っていきたいと思っております。



(問合せ先) 柳川市立三橋公民館

柳川市三橋町正行4 3 1 - 2

電話 0944-73-4489 FAX0944-72-1414



「昔あそびでつなぐ 笑顔と子どもと高齢者」

福智町中央公民館

福智町では町内に在住の高齢者を対象に、知識・技能の向上、健康維持、同世代の方との交流などを目的として、「高齢者大学」を開校しています。今年度の受講者数は227名です。平均年齢は70歳超ですが、座学・軽運動・創作活動など、様々な講座を受講中です。

受講生が最も楽しみにしているのが、平成19年度から行っている学校訪問です。最初の1～2年間は見学だけでしたが、子どもと一緒に何かできないだろうか…と小学校の先生に相談したところ、1年生の授業で子どもたちに昔あそびを教えながら一緒に遊ぶというのはどうですか？との提案をいただき、昔あそびを教えることになりました。

「教わる」側から「教える」側へ。初年度はぎこちなかった受講生も、回数を重ねるごとに、教え方や内容など工夫をするようになりました。学校とプログラムの練り直しを何度も行うなど大変なこともありましたが、初めての遊びに真剣な顔でチャレンジし、成功したときに見せる子ども達のピッカピカの笑顔と、その笑顔を見つめる受講生の温かい笑顔は最高です。

今までは知らない子どもとお年寄りという関係だったのが、学校訪問をすることで「あっ、あやとりのおばあちゃん！」「けん玉のおじいちゃん！こんにちは！」など地域の中で声を掛け合えるようにもなりました。

受講生の皆さんも昔あそびを通して、私にもできるんだという自信と、誰かを思い勉強をして自らステップアップしようとする気持ちを芽生えさせる講座となりました。

この事業のねらいは、高齢者の方々に活動のステージを提供することで、自信と健康を回復し、地域での住民同士の交流を通じて子どもの安全を見守ることにあります。

高齢者の方が今まで経験で培ってきた豊かな知恵や知識・技能を伝えることは、次世代を育てる大きな力となります。また、学校で事業をすることで学校への理解も深まり地域の活性化に向けた環境整備にもつながるものと考えます。

地域でのコミュニケーションが稀薄になる中、今後も学社連携事業の一環として位置づけ、地縁社会の復興を願い地域再生事業の一助にしたいと思えます。

高齢者のステップアップで地域カアップ！！



【お問合せ先】 福智町生涯学習課 公民館係

〒822-1101 田川郡福智町赤池 970-3 TEL0947-28-4100 FAX0947-28-4565

第64回九州地区公民館研究大会（兼）第58回福岡県公民館大会報告

第64回九州地区公民館研究大会（兼）第58回福岡県公民館大会が、平成25年8月29日（木）、30日（金）の2日間にわたって、福岡国際会議場、福岡サンパレス、福岡市民会館を会場として、九州各県から公民館に関わっている2,183名（内福岡県1,215名）の方々に参加いただき、盛大に開催することができました。

近年、少子高齢化や核家族化などの進展、情報技術の高度化、ライフスタイルや価値観の多様化など、社会を取り巻く環境が大きく変化し、地域における人間関係や連帯感の希薄化、地域コミュニティの再生が大きな課題となっています。

このような中、公民館は、地域住民の学習活動や交流の拠点施設として、地域

の実態に即した様々な活動を展開してきました。今後は、個人の要望と社会の要請に応えるため、活力と魅力あるコミュニティづくりをめざして、公民館活動を中核とした体制や環境を整えていく必要があります。



分科会の様子①



分科会の様子②

そこで、九州の公民館をはじめ、生涯学習・社会教育関係者が一堂に会し、日頃の実践をもとに、これからの公民館の在り方や直面する諸課題の解決に向けて研究協議を深め、今後の公民館活動の一層の充実・発展に資することを趣旨として、本大会を実施しました。

1日目は、福岡県がこれまで実践交流会という形で積み上げてきた中から、①「地域教育力の向上」、②「家庭教育」、③「高齢化社会への対応」、④「人権教育」、⑤「自治公民館活動」、⑥「青少年教育」、⑦「ボランティア活動」の7つの分科会を設定し、九州各県と福岡県の実践発表をもとに研究協議を行いました。どの分科会も討議の柱に沿って熱心な討議がなされ、参加者の皆様にとっても、地元を持ち帰って早速生かしていきたいと思っただける内容となりました。

2日目の全体会では、まず、アトラクションで、精華女子高等学校吹奏楽部による元気で鮮やかな演奏で、参加者の方々をおもてなしました。

続いて、開会行事では、国歌斉唱、公民館の歌斉唱の後、九州公民館連合会会長であり福岡県公民館連合会会長の中嶋様（須恵町町長）、全国公民館連合会会長から主催者あい

さつ、福岡県副知事、福岡県議会副議長から来賓祝辞、福岡市長から歓迎の言葉をいただきました。表彰式では、優良職員表彰として佐賀県と大分県の2名の方、永年勤続職員表彰として8名の方が受賞されました。（福岡県からは北九州市若松区第3区公民館長の大庭博行様が受賞。）

その後、久留米市出身のシンガー・ソングライターの野田かつひこさんによる記念講演を行いました。



アトラクション（精華女子高等学校）の様子



開会行事の様子①



開会行事の様子②

野田さんの講演は、ふるさとの歌を作り続け、その土地で懸命に生きる人たちの思いを形に残されており、楽しいお話と心に染み入るあたたかい歌を紹介していただきました。参加者の方々からも、「感動した。」「もう一度聴きたい。」「うちのまちにも来て欲しい。」

という感想をたくさんいただきました。



最後に、閉会行事では、福岡県から、来年度の九州大会開催県である鹿児島県に、九州公民館連合会の旗が手渡され、締めくくりました。

本大会を開催するに当たっては、特に、福岡市の皆様の御尽力により成功裡に終わることができましたが、今回は、多くの全県域の関係者の方々にスタッフとして関わっていただいたことで、内容面も運営面も充実させることがで

記念講演（野田氏）の様子

きました。ほんとうにありがとうございました。

来年度は、第59回県大会となります。福岡地区（会場：春日市クローバープラザ予定）での開催となります。さらなる大会運営の改善に努めてまいりますので、今後とも公民館活動の充実・振興のために御尽力いただきますよう、よろしくお願ひします。



閉会行事の様子